

| | | | |
|---------|-----------------------|----------|----------|
| 科目分類 | 一般教養科目 科学の基礎 | 開講時期 | 1年 後期 |
| 授業科目 | 比較文化論 | | |
| 選択／必修 | 選択 | 単位数(時間数) | 2単位 30時間 |
| 授業形態 | 講義 | | |
| 担当教員 | 津村 文彦 | | |
| メールアドレス | tumuraf@meijo-u.ac.jp | オフィスアワー | 授業の前後 |

| | |
|---------------|--|
| 授業目的 | <p>①文化人類学の基本的な概念を理解する。</p> <p>②異なる文化と自らの文化を比較する枠組みについて理解する。</p> <p>③自らの生きる文化について、相対化する視角を獲得する。</p> |
| 授業概要 | <p>本講義では、人間の文化的側面を探求する。儀礼や信仰のみならず、経済活動や近代科学、医療行為なども、広く文化・社会の産物として視野に含め、現代世界における多様な文化的価値を比較文化的に眺める、視点や論点を学習する。</p> |
| 授業内容 | <p>自己の文化と他者の文化を比較しながら、個々の文化がもつ独自の論理を見出す視角を身に付けることを目指す。</p> <p>第1・2回 文化と人間</p> <p>第3・4回 人と人のつながり</p> <p>第5回 映画から考える異文化接触：『セブン・イヤーズ・イン・チベット』</p> <p>第6・7回 人生と時間</p> <p>第8・9回 環境・技術・もの</p> <p>第10回 映画から考える病：『生きる』</p> <p>第11・12回 信仰と世界観</p> <p>第13・14回 身体・病気・治療</p> <p>第15回 映画から考える宗教：『ナンナーク』</p> |
| 教科書 参考書等 | 授業時に配付する資料を使って学習する。 |
| 成績評価 基準・方法 | 小レポート(40%)、学期末レポート(60%)により、比較文化論的視点についての理解の習熟度を評価する。 |
| 履修要件 | なし |
| 留意事項 その他 | なし |